

き發會式當日まで援助せられたる其の功勞に至つては蓋し創立實行委員諸君と同様に深甚なる謝意を拂はざるべからず敢て茲に特筆したる次第なり

本組合創立費寄附金として寄贈せられたる芳名並に其の金額左の如し

創立費寄附金額

金額	姓名
一金壹百圓也	機關長 水戸三郎
一金貳百圓也	熊野丸機關部一同
一金壹萬八千貳百五拾圓也	組合長 檜崎猪太郎
一橫濱に於て創立實行に關し消費し	組合副長 濱田國太郎
一たる金額全部を寄附せられたり	組合副長 龜井司
一金貳百圓也	伏木丸船長 平岡松太郎
一金拾圓也	

總計金壹萬八千七百六拾圓也

創立費用計算書は別冊にて報告しあり

日本海員組合趣旨及綱領

趣 旨

今や社會の大勢は恰も潮の湧くが如く滔々として全世界に亘り各國民衆の覺醒を促し就中各國民衆中最大多數を占めて居る勞働階級は何れも異口同音に平等生存の權利として其境遇の改善福利増進を叫んで居る之は人類の社會として當然の叫びであつて當に斯くあるべき筈である隨て此の大勢は到底人力を以て防止し得べきものに非ざることは明瞭である若し吾人にして一朝此時機を逸し苟も大勢に順應するの策を怠つたならば夫れこそ由々敷大事にして海員共同の福利は永遠に實現しないかも知れぬ故に吾人は此際斷乎として從來の今日主義より脱し思ひ切つて覺醒しなければならぬ然るに今日まで既に覺醒の緒に就きたりと信せらるゝ歐洲方面の列國中現に一國を擧げて或は全く破壞的狀態に陥り國民擧つて塗炭の苦みを受け殆んど收拾すべからざる悲境に沈み或は將に同一の状態に瀕せんとする實例が明に吾人の眼前に示されて居るのである吾人は深く之に鑑み苟も輕舉妄動して覺醒の方向を誤つてはならぬ

吾人は海員である而かも我海運の中堅として最大多數を占めて居る海員である元來海運は我島帝國の爲めには實に立國の根本とも謂ふべき大切の機關にして絶へず國家的經濟戰の第一線に立ちて活動しつゝありて其の貢獻する處は直接に國家の利益を擁護増進すとの衝に當り間接には世界共通の利益にも亦